

## 2025年4月からの「クォーター制・105分授業」の導入について

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部

札幌国際大学、札幌国際大学短期大学部は、建学の礎に掲げる人材の育成をさらに推進するため、2025年度から現在の2学期制を維持しつつ、春1・2クォーター、秋1・2クォーターの4学期に分けて授業を行う「クォーター制」を導入します。(現在は2学期のセメスター制と呼ばれるものです)

また現在の授業時間は1回90分授業ですが、+15分の「105分授業」へ変更します。1学期を通しての総授業時間はあまり変わらず、授業のコマ数が15回から13回となります。

本学を含んで日本の大学は2学期制(セメスター制)を多く設けていますが、近年クォーター制は、より高い教育効果が見込まれることから、導入する大学が増加しています。

### 1. 導入の目的とメリット

#### (1) 集中的に学修ができる

- ・集中的に学ぶ機会が増え、学習内容が定着しやすい。
- ・同時に履修する科目数が5科目程度に絞ることができるため、1つの科目に集中できる。
- ・+15分を活用し、授業内で自ら取り組む時間を入れ理解を深める。

#### (2) メリハリのある年間計画

- ・学修計画の立て直しの機会が年4回あること。
- ・長期休暇期間が長くなることで、長期プログラムや正課外の学修計画が立てやすくなる。

#### (3) 多様な学外活動に参加できる

- ・長期インターンシップ、ボランティア参加など、自主的な学修の選択肢が広がる。

#### (4) 海外留学がしやすくなる

- ・学期と長期休業期間を組み合わせる等、授業選択を工夫・調整することで留学のチャンスが広がる。

### 2. 本学で導入するクォーター制(学事暦)

これまで(セメスター制)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
春学期(4/1~9/30)						秋学期(10/1~3/31)							
春学期授業(15週)					試験	集中講義 夏季休業			秋学期授業(15週)			試験	集中講義 春季休業




2025年度から(クォーター制)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期(4/1~9/30)						秋学期(10/1~3/31)					
春1クォーター (7週)		春2クォーター (7週)		集中講義 夏季休業		秋1クォーター (7週)		秋2クォーター (7週)		集中講義 春季休業	

- ・上記のように、春学期・秋学期の授業期間をそれぞれ2つにわけた4つの授業期間を導入します
- ・各授業期間を「クォーター」と言い、各7週間で授業を行います
- ・本学ではゼミ科目など一部の科目はこれまで通りセメスターで実施します
- ・定期試験期間は廃止します
- ・入学式は4月と10月、卒業式は3月と9月に従来通り実施します

### 3. 105 分授業への変更(授業時間スケジュール)

授業時間と授業回数を、これまでの「90 分×15 回」から、「105 分×13 回」へ変更します。

	90 分授業		105 分授業	
1 講目	9:00-10:30		1 講目	9:00-10:45
2 講目	10:40-12:10		2 講目	10:55-12:40
昼休み	12:10-13:00		昼休み	12:40-13:20
3 講目	13:00-14:30		3 講目	13:20-15:05
4 講目	14:40-16:10		4 講目	15:15-17:00
5 講目	16:20-17:50		5 講目	17:10-18:55
6 講目	18:20-19:50		6 講目	19:25-21:10

※5・6 講目は一部選択科目を除き原則として対面授業を展開せず、その分を遠隔授業で対応します。

#### [授業パターン A 授業回数 13 回]

1 回 105 分授業を週 2 回×7 週 ⇒ 2 単位

開講例:「火 1 講目・木 1 講目」、「水 3 講目・金 3 講目」、「月 1・2 講目」、「火 3・4 講目」等

#### [授業パターン B 授業回数 7 回]

1 回 105 分授業を週 1 回×7 週 ⇒ 1 単位

開講例:「水 1 講目」、「木 3 講目」等

※一部の科目はこれまでと同じく Semester 制を継続して実施します。

授業の開講時期、回数及び単位数は、各科目のシラバスを確認してください。

### 4. 多様な授業形態

2025 年度からは、これまで以上に遠隔授業を導入する予定です。本学では、主に以下のような授業形態で授業を展開します。選択した授業がどのような形態で展開するかは、シラバスを確認してください。

① 対面授業	すべての回を教室などに集まり行う授業
② 遠隔授業(A)	すべての回を遠隔授業(同時双方向型)で行う授業(Zoom 利用)
③ 遠隔授業(B)	すべての回を遠隔授業(オンデマンド型)で行う授業
④ ブレンド型授業(A)	奇数回を対面、偶数回を遠隔授業(同時双方向型)で行う授業(Zoom 利用)
⑤ ブレンド型授業(B)	奇数回を対面、偶数回を遠隔授業(オンデマンド型)で行う授業

### 5. これまでと変わること・変わらないこと

#### [変わること]

(1) CAP 制(履修上限単位数)の緩和 (大学のみ) ※短大は年間 48 単位で変更ありません。

これまでは前学期の GPA 値によって履修上限単位数を設定していましたが、以下の通り変更します。

・1 学期間に履修可能な単位数の上限を 24 単位に制限する。

・ただし、累計 GPA が 3.00 以上の者は、CAP 制の上限を超えて履修することができる。

※その他、CAP 制に含まない科目などの詳細は別途説明します。

(2) 公認欠席制度

公認欠席事由は変わりませんが、学生から授業担当教員へ所定の手続きによって補充措置を願い出ることができ、担当教員が認めた場合のみ出席扱いとします。しかし、授業内容等によっては補充措置が難しいこともあるため、必ずしも認められるわけではなく、その都度担当教員が判断します。

## [変わらないこと]

### (1) 履修登録期間、単位確認日

履修登録はこれまで通り学期始めに履修登録期間を設けていますので、学期毎に登録してください。成績評価の確認も学期毎で変わりはありません。

### (2) 学籍異動(休学・復学)の時期

休学、復学の時期は変更ありません。復学できるのは学期始めの時期だけになります。

### (3) 学納金の納付期限

学納金の納付も、年度又は学期毎になります。

## 6. Q&A

---

Q: 1 クォーターで何科目まで履修可能ですか？

A: (大学)

1 学期(1 クォーターと 2 クォーター)の履修上限単位数が CAP 制で 24 単位までと定められています。CAP 制に含まれない科目(集中講義など)もありますので、計画的に履修をしてください。

※累計 GPA が 3.00 以上の者は、上限を超えての履修が可能です。

(短大)

1 年間の履修上限単位数が 48 単位までと定められていますので、計画的に履修をしてください。

(上限外幼児教育保育学科の保育士資格要件科目のうち、必修科目)

Q: 学外活動のため特定のクォーターの履修科目を 0 にできますか？

A: 各クォーター、セメスターに必修科目があるため、1クォーターを完全に履修 0 にすることは難しいです。

ですが、海外留学や長期学修プログラム等に参加を希望する場合には、事前にアドバイザー教員又は教務課に今後の履修計画をご相談下さい。

Q: 1 クォーター全ての履修科目を遠隔授業だけにしても良いですか？

A: 対面授業の必修科目を履修する必要があるため、オンデマンド型授業のみで 1Q を構成することは難しいです。事情がある場合は、アドバイザー教員又は教務課までご相談ください。

Q: 全ての科目を遠隔授業で受講し卒業することはできますか？

A: 遠隔授業だけで卒業要件を満たすことはできません。(大学院を除く)

卒業に必要な単位数のうち、遠隔授業(メディア授業)により修得可能な単位数の上限は以下のとおりです。

学 部	卒業要件 124 単位中、60 単位まで
大 学 院	卒業要件すべて OK
短期大学部	卒業要件 62 単位中、30 単位まで

Q: 欠席回数は何回で「不可」になりますか？

A: 大学の授業は 2/3 以上の出席がなければいけません。

全 13 回の授業の場合は 9 回以上の出席、全 7 回の授業は 5 回以上の出席が必要です。